Japanese Society for Day Care Treatment
日本デイケア学会
NEWS No.38

日本デイケア学会広報委員会
２０１９年１月31日　発行
日本デイケア学会事務局
東京都文京区本郷2-17-13
（有）エム・シー・ミューズ内
TEL：03 － 3813 － 6368
FAX：03 － 3813 － 6368
E-mail:info@daycare.gr.jp
http://www.daycare.gr.jp

日本デイケア学会第24回札幌大会をよろしくお願いします!

日本デイケア学会第 24 回年次大会　大会長
医療法人社団ほっとステーション
大通公園メンタルクリニック院長
長谷川　直実

日本デイケア学会第 24 回年次大会は、2019 年 9 月 14 日（土）、15 日（日）に札幌市で開催されます。会場については、北星学園大学のご協力をいただき、北星学園大学の大学キャンパス（札幌市厚別区大谷地西２－３－１　地下鉄東西線大谷地駅下車徒歩圏内）をお借りして開催させていただけることになりました。

札幌大会のテーマは「技あり！デイケア！～現場で使える技術と私たちの矜持（きょうじ）～」と題しました。医療のデイケアとしての実践的な技法、知識をたくさん学べる企画に取り組んでいます。

また、この大会テーマにある「私たちの矜持」とは、医療人である専門職スタッフ、ピアサポーター、当事者、家族、みんなの矜持のことを意味しています。それぞれが自尊心をもって生活できることを目指したいという希望を表しています。

動機付け面接、外来森田療法、SST、解決志向アプローチ、条件反射制御法などを学べる「現場で使えるシリーズ」も企画しています。市民講座には、和田行男先生の「注文を間違える料理店」を予定しています。

また、札幌大会では、一般演題の他にデイケアプログラムの実演発表も募集しますので、他の医療機関のデイケアプログラムを体験することができます。デイケアプログラム実演発表にあたっては、その発表プログラムの内容に合わせて、できるだけ発表する部屋を検討する予定です。「発表したいけど、学会で実演できるかな」と迷っている方もぜひご相談ください。

札幌大会の準備にあたり、北海道内の有志のデイケア学会会員の方々が集まって実行委員会を重ねています。これからの冬のあいだ、雪で実行委員会当日に参加できなくなる実行委員もどうしても出てしまいますが、大会当日まで連携して本会を作り上げていきたいと思っています。

会員の皆様には、今後、一般演題、デイケアプログラム実演発表の募集、作品コンテストやフットサル大会、ステージ発表への参加、座長のお願い等ご協力をいただくことがたくさんございます。私たちからの依頼が届きましたら、是非お引き受けいただければ幸いに存じます。

北海道は、ちょっと遠いですが、どうぞ９月の連休に足をのばしてご参加ください。参加しながら皆さんがそれぞれの現場に戻ってから試してみたくなる技法が必ずみつかるでしょう。

たくさんの皆様のご参加を実行委員一同、心よりお待ちしております。

日本デイケア学会 第24回年次大会札幌大会のご案内

大会テーマ	**技あり！デイケア！** **～現場で使える技術と私達の矜持～**
大 会 長	**長谷川 直実** （医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック院長）
会　　期	**2019年 9月 14日**（土）～ **9月 15日**（日）
会　　場	**北星学園大学**　北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1
ホームページ	**http://daycare24sapporo.jp/**

演題募集について	・デイケアに関する演題を募集いたします。 募集期間、募集要項につきましては、大会ホームページをご参照ください。
事前参加登録について	・登録期間、詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。
研修単位の認定について	・本大会は日本精神神経学会専門医資格更新にかかる単位の取得ができます。
予定プログラム	・市民公開講座　一般社団法人「注文をまちがえる料理店」代表理事　和田行男 ・特別講演　東京都医学総合研究所病院等連携研究センターセンター長・副所長　糸川昌成 ・シンポジウム　「（仮）デイケアと地域性～都市部・地方・海外、それぞれの立場から～」 「（仮）認知症」、「（仮）障がい者スポーツ」 ・現場で使えるシリーズ（ワークショップ） ・現場で使えるSST（前田ケイ／ルーテル学院大学名誉教授） ・現場で使える動機づけ面接法（中村英司／札幌刑務所） ・現場で使える集団精神療法（田辺等／北星学園大学） ・現場で使える解決志向アプローチ（阿部幸弘／こころのリカバリー総合支援センター） ・現場で使える森田療法（山田秀世／大通公園メンタルクリニック） ・現場で使える条件反射制御法（長谷川直実／大通公園メンタルクリニック） ・その他ワークショップ ・デイケアプログラム発表 ・フットサル交流会

連絡先　**【大会事務局】** 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック
〒060-0042　北海道札幌市中央区大通西5丁目　昭和ビル2階
TEL：011-233-5255　FAX：011-233-5256

日本デイケア学会第 23 回千葉大会を終えて

日本デイケア学会　第 23 回年次大会 大会長
医療法人社団宙麦会ひだクリニック理事長　肥田　裕久

新年おめでとうございます。時間の経つのはとても早いもので、あっという間に、日本デイケア学会第 23 回年次大会千葉大会が終了し、はや 4 ヶ月が経とうとしております。1367 名の方々が参加してくださり、盛会の内に終了できました。多くの皆さまのお力添えがなければなし得なかった大会であったと思います。紙面で恐縮なのですが、まずは御礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、私見ということをお断りした上で、千葉大会を通して感じた事等を述べさせていただきたいと思います。デイケアの機能が大きく変化してきていることを夙(つと)に感じています。何らかの精神科疾患や障害を持つ事によって大きく変更を余儀なくされてしまったメンバーたち。そのメンバーたちが、まずは安心でき、休め、次のステップへエネルギーを蓄えるような場所。それによって再入院を予防でき、地域で生活する事を応援できるような場所。それもデイケアの大きな役割であったと思います。

その一方で決して悪い事ばかりではないとは思うのですが、デイケアの中に効率化という空気が忍び込んでいるようです。その忍び込み方は、以前は控えめに、今は大手を振って。

医療行為も大きな目で見ると経済活動でもあるのでこの呪縛からは逃れる事はできません。しかし効率だけで図る事ができないことも多くあるように思います。例えば「回数制限」。メンバー一人一人の回復のスピードはちがいます。就労を目指してデイケアに参加し，就労支援を希望するメンバーも多くなりました。これはとても良い事だと思います。千葉大会のテーマは「夢と希望」でした。しかし、メンバー全員の夢や希望が就労とはかぎりません。「自分の今の生活を守りたい」「再入院はしたくない」「自分でやれることを少しずつ増やしたい」といったささやかかも知れないけれど、切実な夢や希望にも、私たちは多くの耳を傾けなければならないと思います。

千葉大会の特徴のひとつは、錚々(そうそう)たる先生がたの自主企画が多かった事だと思います。ワークショップの数も多く、どれにエントリーしようかと迷われた参加者も多かったと聞きます。そういった学問的な充実の他にも特徴がまだあります。当事者、家族、ピアの参加も多かったことです。千葉大会の実行委員会で目論んだ事は、専門職の「知識」と当事者の「知恵」の融合ができないかということでした。それがどれほど実現できたのかは心許ないのですが、少しは種が蒔けたのではないかと考えております。

ニュースレターで私見という形で千葉大会を振り返らせていただけたことを感謝いたします。

第 24 回年次大会は札幌大会です。みなさま、次は札幌でお会い致しましょう！

Ｅクリニック問題に関する理事長声明

日本デイケア学会理事長
原　敬造

2015 年 7 月 23 日、フジテレビ系「みんなのニュース」告発スクープ「医療費が狙われる？劣悪環境で暮らす患者」で都内精神科医療機関、Ｅクリニックをめぐる医療扶助の問題が報道された。2015 年 7 月 24 日には、医療扶助・人権ネットワークが厚生労働大臣・東京都知事宛意見書提出を提出した。産経新聞で「都内の精神科クリニックグループが、福祉事務所相談窓口に相談員を派遣し、生活保護受給を条件にシェアハウスに住まわせデイナイトケアに通院患者囲い込み」等とＥクリニック問題が報道された。2015 年 7 月 25 日～ 26 日には共同通信配信で朝日新聞、日経新聞、毎日新聞でも大々的に報道され、精神科デイケアのイメージは、大きく傷つけられた。精神科デイケアに通所する利用者は自らの活動を、そして精神科デイケアに働く多くのスタッフは、自らの仕事へのプライドを大きく傷つけられた。

日本デイケア学会ではこの問題の社会に対する影響の大きさゆえに、Ｅクリニック問題調査委員会を立ち上げ、調査を開始した。

学会は、自由な討論を基盤に、相互批判と相互止揚が本来の姿である。調査委員会は、ＥクリニックのＥ先生（日本デイケア学会元会員）に対して相互討論と相互検証を求めたが、意思表示もなく、相互討論も検証も実現できなかったことは、極めて残念なことである。当該会員は会員としての義務を放棄するものであり、極めて遺憾なことである。

来談者は、患者である前に苦悩を抱える一人の人間である。Ｅクリニックの問題はこのことに尽きる。生活保護の相談に来た人を、患者とみなす前にできる支援は何かを考えなければならない生活保護のケースワーカー、Ｅクリニックに誘導する前に相談者に最も適切な支援は何かを考えなければならない委託された精神保健福祉士のワーカー、それぞれの持ち場で、人権に配慮した係わりが求められる。

医療は自由な契約に基づいて成り立つもので、生活保護受給と引き換えになされるものではない。ましてや医療は生活を管理するものではない。医療の名のもとで、患者の生活を管理することで、援助者は強力な権力者になる。それ故、医療の名で生活を管理された人は無力になり、尊厳も失われる。精神科デイケアでは、一定の時間医療施設で過ごすが故の管理が生じる。それ故、医療は生活を支えるものであり、生活を管理するものではないことを常に意識する必要がある。

精神科デイケアは、通院による治療とリハビリテーションが融合したもので、利用者のＱＯＬの改善を目指すものである。精神科デイケアの効果は様々であるが、利用者相互の関係、利用者と援助者の関係を媒介として相互の成長を促すものである。様々な傷つき体験をし、苦悩を抱える利用者が、安心できる場を通して、自らの力でチャレンジし解決する力を得る場である。

Ｅクリニックの問題の教訓は、援助者がパターナリズムに陥ってないかを日頃から自己点検することにある。また、利用者の人権を侵害していないかを常に意識しながら、日常の活動を行うことである。

日本デイケア学会は、Ｅクリニックの問題を総括し、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者の権利に関する条約（略称：障害者権利条約）などの基本理念を踏まえ、倫理員会を立ち上げ、デイケア活動の倫理指針を提言することを決定した。

千葉大会印象記

第 23 回年次大会千葉大会に参加して

松下　雄

ここ数年、デイケア学会へ参加させていただいています。学会参加が、日々の関わりや自身の役割について振り返る良い機会となっています。今回の千葉大会では、『夢と希望をかなえるデイケアを目指して』というテーマの通り、『当事者のリカバリー』や『地域でくらす』ために、支援者がどのように関わり、どうやって夢と希望を叶えていくのかを再考する良い機会となりました。各施設の就労への取り組みや個別支援の方法は、非常に興味深く自分自身もっと勉強していきたいと思います。また、企業の雇用担当者の本音や家族ワークショップ、当事者研究などチャレンジ性が高く大変興味深い演題を数多く聞く事も出来ました。肥田大会長がおっしゃっていた、学会場隣の夢の国の誘惑にも負けない、たいへん魅力的でパワフルな学会だったと思います。

早速職場で学会報告を行ない、新しく得た知見を共有し、我々の関わりの重要性について再確認しました。当センターは、18 歳から 45 歳の年齢制限と、5 年の利用期限を設けた通過型のデイケアです。スタッフ間で情報を共有し、しっかりとした枠組みの中で安心して過ごせる環境を提供していけるよう検討を重ねています。

学会では、いろいろな取り組みやアイディアを聞く事が出来ます。良い刺激を受けて、夢と希望をかなえるデイケアを目指し、共に楽しむ姿勢をもって取り組んでいきたいと思います。

最後に、ご多忙の中、今大会にご尽力くださった運営・実行委員の皆さま、たいへん貴重な機会をいただき感謝しております。ありがとうございました。

（広島市精神保健福祉センター　作業療法士）

千葉大会印象記

第 23 回年次大会千葉大会に参加して

井坂　美菜・菅原　彩

私たちはこの度、初めてデイケア学会に参加させて頂きました。多職種や当事者の方々が一同に集まる学会に足を運んだことは初めての経験でしたので、皆さんで作り上げる活気のある雰囲気を肌で体感できたと共に、様々な領域で行われている専門性の高い技法や趣向を凝らした関わりを拝見することができ、大変学びの多い時間となりました。

普段私たちは、リワークデイケアにて利用者の方の社会復帰をサポートしていますが、今回の大会でも、就労支援をテーマとする報告が予想以上に多く、今まさにデイケアに求められている支援の一つであるということを実感致しました。中でも、シンポジウムにて企業の方々が支援者に求める「本音」を聞くセッションがあり、いかに企業と連携をしていくか、そこでいかに医療職としての専門性を活かし、企業も本人も頼れるような関係作りをしていくかについて、改めて考えさせられました。その中で出てきた、「病状が一番悪かった頃からの回復の経過を知っているのは医療のみであり、その経過を共有することにかなりの価値がある」という言葉は特に印象に残っており、そういった経過をしっかり言語化して共有することを意識しながら、利用者とも企業とも開かれた関係を築けるよう、スキルアップしていきたいと感じました。

其々個人で口頭発表もさせていただきましたが、多職種・多領域の方々と意見交換する経験を持てたことは、今後の臨床において大きな力になると感じております。

さて、来る第 24 年次大会は、北海道札幌市で開催されます。テーマは「技あり！デイケア！～現場で使える技術と私達の矜持（きょうじ）～」。当院も運営として関わらせていただいております。今回の千葉大会の温かく活気のある雰囲気に沢山パワーを頂けたので、それを札幌大会へ還元していければと思っております。様々な「技」を共有し、新たに実践の場で活用することができるよう、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

（医療法人社団ほっとステーション　大通メンタルクリニック　大通公園リワークオフィス・臨床心理士）

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成 8 年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1．入会申込書　下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2．入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 ＋ 年会費 8,000円

団体会員：3 名までは、入会金 5,000円 ＋ 年会費 20,000円（登録者名の変更は適宜可能）

（3 名を越えるときは、 1 名につき年会費 5,000円を加算してください）

振 込 先：郵便振替　名称：日本デイケア学会　口座番号：00170-8-167337

3．資格（会則の一部を引用します）

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4．事務局　〒113－0033　東京都文京区本郷 2－17－13 広和レジデンス 2F　（有）エム・シー・ミューズ内

日本デイケア学会事務局

TEL＆FAX：03-3813-6368

E-mail：info@daycare.gr.jp　　URL：http://www.daycare.gr.jp

キリトリ線（ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。）

入会申込書

申込日　平成　　年　　月　　日

（正会員用）

氏名			性別	男・女	生年月日	T・S H　　年　　月　　日

職種		所属先名称（勤務先）	

所属先所在地	〒	電話番号	（　　）

（団体会員用）

団体名		代表者	
所在地	〒		
種別		TEL	（　　）
FAX	（　　）		

会員登録（計　　名）　※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ